

山紫水明会(昭和34年卒業)同窓会

4月5日、6日に昭和34年卒業の同窓会が、京都熊野神社近くの聖護院御殿荘で開かれました。

会場の聖護院御殿荘は、天明八年と安政元年の京都大火で御所が炎上した際に、仮御所として使われていた聖護院門跡の一部を使用した由緒ある旅館という事でした。しかもこの日は、春の暖かい日差しを受けて門前のしだれ桜が満開で、その上庭には、現皇太子が浩宮時代の学習院高校研修旅行時に植樹された紅梅の他、木蓮、桜も満開で、3種の花が競演して我々を出迎えてくれました。

出席者は同窓生32名中物故者、体調不良の方を除く16名でした。今回は数え年或いは満年齢での喜寿と全国版という事で、関西地区在住者のみならず愛媛、千葉、埼玉、広島、岡山など遠くからも集まりました。久しぶりの対面で学生時代に戻り、宴会が終わっても一晩中夜の更けるのも忘れて飲んで喋っての楽しいひとときを過しました。遠くから出席したメンバーの中には、会の前後に近辺の桜の名所を散策したりして、久しぶりの京都を満喫した人も多くいました。

次回は2~3年後の傘寿での再会を約し、それまで皆元気でいようと声を掛け合って解散しました。



後列：広瀬、桜井、甫天、萩原、牧、松本、
中列：松井、後藤、森村、
前列：藤井、横山、吉岡、石川、近藤、
(野口、大多和 早退)

(色染 昭34・横山清一郎)